

病棟活動(ギター演奏会、七夕ゲーム大会)
卓球交流会

議員

江戸川病院院長 新村ヨシオ



ヤマユリ (関看護部長撮影)

議員は国会や地方議会などで議決権を持つ人である。すなわち、国会、県会、市町村議会にて議決し、行政が円滑に義務を果たせるように議会を運営しなければならない。それぞれの議員は国会の国民総選挙をはじめ県会や自治体議会の住民投票で当選しなければならない。議員になるにはとても大変なことである。やはり名誉職の一面もあり人格や経歴が重要視されるので、資格を有する人は少ない。各業界で社会活動している人を政党が評価すれば、入党させて候補者として擁立して

くれる。あるいは、最初から議員になろうと大志を抱いて、秘書となって修行する人も多いようだ。議員になれても身分を維持していくことが大変であり、選挙区民との交流、陳情の受け付け、議会報告、政策や理念の啓蒙、議会や行政との調整、そして責任が重くなれば更に忙しくなる。言わゆる地盤内で活動も必要であり、かと言って公平・中立を保持しながら対応しなくてはいけない。議員は地元を向けるのはその地区の代表者ということでもあり、選挙民に密着しないと次の当選は保障されない。落選すればただの人になってしまう危うさがあり、度胸も要る。

議員ひとりでは活動できないので政党や会派に参加して、意見や政策を具現化していくことになる。結局はどこかの政党に加入しなくてはならず、自身の公約を実現するのは困難になることもある。政党の理念も考慮しつつ公約を掲げ、独自性を際立たせることも難しいだろう。それに現実的で優先順位の問題もあり、自身の公約の具体化も後回しになることもあろう。結果を出さないと評価されず、政治生命を絶たれるだろうし、葛藤が生じてくるのでストレスも多いと思われる。実際は日常生活上の問題で苦情や相談そして陳情が多く、交通整理するために複数の秘書も必要になってくる。それに無理難題を注文してくる輩もいるし、議員ほど他職種の人と会う機会が多い者はいない。生命にかかわる突発的なことにも奔走しなくてはならないので、仕事は多岐にわたる。議会活動の報告も大切な仕事となっている。

議員の資格については昨今問題が多くなっている。とくに国政を担っている国会議員の資質が問われている。不適切な発言や行動が報じられており、無神経で品格に欠けた発言で更迭された復興大臣、現在、違法発言で糾弾されている大臣、被災地視察でおんぶされた政務官や重婚問題や浮気の議員、暴言・暴行の女性議員、渦中の獣医学大学関係者からの献金話など醜聞が多くなっている。こんな人達が主権者となって立法・司法・行政を治めているかと思うととても羞かしいことである。このような報道を耳にする度に残念さとともに憤りの感情を覚えるようになった。こんな議員のために税金が使われているのかと思うと怒りが出てきた。納税は義務であり当然と思うが、汗をかき血のにじむような働きで得た給料から絞り出されたものである。その血税を不祥事を起こした人で国会にも出てこない議員にも給料とボーナスが支払われるということにも解せない。離党だけでは許されない。

議員には国民に率先垂範を示してほしい。我々の血税を何とと思っているのか。税率は増えていくし、国に天引きされるお金も多くなり、年金は徐々に減らされていく。なのに政党交付金や政治資金にしても国民が支払っているのである。なのに、いい加減な使い方や報告書で何も問われないのは合点がいかない。我々が納税する時は資料を添付し、領収書を全部添付して誤魔化しようのない申告書を作成しているのだ。「忘れました、記憶にありません」と言ったら、行政は国民を許さない。候補者を学歴や経歴だけで決めるのはやはり危険である。地元で活躍し、地盤を作り、地域から幾多の選挙を経験し支持を受けて、国政に立候補させるのが最善と思われる。中選挙区制となってから落下傘で下りてきたように、地元とは無関係の人が候補者になり当選させることは、地元が滅ぶのではないかと思う。〇〇チルドレンは本当の苦勞を知らない所以地道な努力と慎重さが足りないのであろう。議員には品位が求められても良いのではないか。

エガケン ギター演奏会

6月24日(土)、毎年ボランティアで来て下さっているギターデュオ「エガケン」のお二人がギター演奏に来てくださいました。



午前中はデイケアでギターライブが行われました。早い時間から声が出るか心配されていたお二人ですが、いつも通り聞き手をやさしく包み込むような歌声を聞かせてくださいました。ゆず・椎名林檎・山口百恵など幅広いポップスにアレンジを加えてかなり聴き応えのあるライブでした。デイケアの利用者様とコラボしての演奏も行われました。「何回聴いても音色、歌声が素敵だった」、「暖かい人間味がギターの音色にあっていた。また来てほしい」といった声がありました。

午後からはE棟6月の誕生会のゲストで演奏してくださいました。テンポの良い「ズンドコ節」やしっとり聞かせてくれる「ここに幸あり」など14曲を披露して下さいました。感動されて「本当によかったわ」と繰り返し話される方や「1月は私の誕生日だからまた来てね！」と声をかける方がおられ、目がハートマークになっている患者様がたくさんいらっしゃり、大人気でした。



E棟

七夕ゲーム大会

精神科

病棟



精神科病棟の作業療法で七夕ゲーム大会が行われました。チーム対抗戦でチーム名は患者様同士で考えていただき、「織姫星チーム」といった七夕にちなんだものから「うめ星チーム」とひねりのきいたチーム名も出ました。患者様と製作した七夕の壁画を使った『短冊ゲーム』や彦星と織姫を乗せた紐のついたかごを巻き取って速さを競う『天の川デートゲーム』、ペアになってひらひらと舞う星たちをザルでとる『キラキラ星キャッチゲーム』など盛りだくさんで行われました。患者様からは「面白かった」、「星が降って素敵だったわ」、「天の川ゲームが楽しかった」といった感想が聞かれ、笑顔が溢れました。



江戸川病院 7月院内行事

E棟誕生会 7/22(土) 14時～ E棟6階

～木野崎病院合同卓球交流会～

6月10日(土)福田体育館・公民館で木野崎病院デイケアの方々が内容を企画して下さり、卓球交流会が行われました。混合ダブルスのトーナメント、ピンポン玉入れ大会とみんなが楽しめるよう工夫されていました。後半は各病院の出し物があり、ダンスとボディパーカッションで盛り上がりました。木野崎病院の方が準備して下さったマドレーヌをいただきながら交流もでき、あっという間に時間が過ぎました。「卓球の勝ち負けよりも交流ができて良かった」、「臨機応変に動けて自信になった」と感想が聞かれました。

デイケアつぼみ



ピンポン玉入れ大会
(かごに入るようワンバウンドで投げます)



交流会 (デイケアつぼみはダンスを披露)



卓球ダブルス(病院混合ペアで対戦)

『あおぞらだより』に関するご意見・ご感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。(内線 238)

医療法人社団全生会 江戸川病院
〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
電話 04-7124-5511(代)
<http://www.edogawa-hp.com>

編集後記：7月いよいよ暑さも増してきました。最近、看護部長から聞いてビックリしたことは、爪楊枝の置き方です。爪楊枝上部の筋が入っている部分をポキッと折ってみてください。なんとその部分が著置きならぬ楊枝置きになるのです。使った爪楊枝の置き場所に困ったらやってみて下さいね。